



「春とはなりぬ」。ただし、暦の上では、1月末には暴風雪に見舞われ、浪は高く、依遅ヶ尾周辺の野山も薄化粧しました。この時期には見慣れた風情であるものの、昨年からの新型コロナの影響により感染防止策として換気や消毒等の新たな生活のスタイルも継続させ、今までとは異なったものへとシフトせざるを得ないことが生じています。とりわけマスクを付けた生活は、代表的なものといえるでしょう。感染予防するためにも必要なことではありますが、子どもたちの生活において、良好な対面コミュニケーションのとりづらさがあります。

マスクを付けたままでは、声も表情も伝わりにくい中で相手との距離を縮めるのはどうすればよいのか。(化粧品メーカー調査：声が聞き取りにくい 46%、表情を読み取りづらい 36.4%、こちらの感情が伝わりにくい 22.1%)。研究者は、視線など「非言語情報」の重要性を指摘。宝塚大の教授（非言語コミュニケーション論）によると人が受ける情報のうち言葉の内容は 7%で、残りはしぐさや表情などの非言語情報という。「すれ違いを避けるには、眉や目で表情を作った上で滑舌を良くし、声の抑揚も工夫する必要がある」と指摘。

【引用：地域プラス 京都新聞】

丹後学園では、子ども同士のコミュニケーションを高める授業や活動の中で「ことばで伝えあうこと」「人を思いやること」等をめざす子ども像としています。マスクを付けて生活していく上で表情豊かに、声の抑揚も身に付け、場面に応じた適切な対応ができるよう指導を展開してまいります。今できることを工夫しながら各学校等で教育活動を進めています。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●●●～ 保 幼 小 中 みんな元気です！ ～●●●

丹後こども園

5歳になりました堂々の報告。力作！鬼のお面。リズムに合わせてゲームやヒコーキ飛ばし！



勢揃い、千支をモチーフに描いた図画、カラフルな靴でしゃれたオブジェとなった下駄箱



宇川保育所

玄関扉を開けたら、節分をテーマにした作品がずらり。個性と季節感の表現！



これからはじまる、楽しい遊びの説明を聞いている子どもたち。そのあとは、先生もお友達もみんなで歌って踊って、ごろんごろん。みんなが仲良くしていくコツを、遊びをとおして学んでいきました。



◎小学校・・・6年生は、入学への準備、今年は学校別に児童・保護者で制服等の採寸を行いました。

宇川小学校

保護者とともに制服あわせ、成長著しい時期だけにちょい大きめにしとこかな。

**丹後小学校**

27日には、食育について4年生校内授業公開、食べることの大切さや感謝の言葉が多くの子から出ました。「地産地消」もしっかりと学びました。

**丹後中学校**

26日、入学説明会（保護者）。19日、2年生道徳校内授業公開の様子、わが子を思う気持ちのこもった親からの手紙を一人一人が読む、感極まり涙する生徒も続出。授業後半、今度は子から親への手紙を書きました。今までの自分、これからの自分を見つめる機会にし、立志式で発表！



立ち合い演説会は、美術室から各教室へ映像を配信し、生徒は電子黒板に注目しました。

